

岡林かおるの ひまわり NEWS NO.30



2012年 春号

ごあいさつ

春爛漫の候

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本市におきましては、市長の市政運営方針、平成24年度の予算特別委員会など、重要な議案の多くあった3月議会も終わり、いよいよ新年度へスタートしました。今議会では、防災・防犯対策や、子育て支援、健康・福祉など、市民の皆さまの命と健康を守り、安心・安全のまちひらかたの構築のための施策を訴え、要望させて頂きました。また、安定した財政基盤を構築するためにも、既存の予算、事務事業の見直しを行うため、平成24年度から2ヶ年で事務事業の総点検が実施される予定となっており、その実施にあたっては、具体的な数値目標を設定し、積極的な行政改革を行っていくよう強く要望いたしました。

今年度も、皆さまのお声が、市政に届くよう全力で頑張っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「ひらかた いのちのホットライン」が拡充されました！

自殺予防相談専用電話

誰に相談していいかわからない、不安や悩みを抱えている人の気持ちに寄り添い、悩みを軽減するための相談電話窓口です。議会で拡充を要望し、実現しました。

Tel 861-1234 4月から月・水・金 午後1時～午後8時

皆さまのご要望にお応えしました！



- 車椅子で入庁できるスロープが整備されました。
市役所本館前



- 危険個所にカーブミラーが設置されました。
東香里病院前バス停付近

議会報告



3月に開かれた予算特別委員会において14項目にわたる質問を致しました。主な内容を掲載させていただきます。

防災対策について	
質問	答弁
避難所となる体育館の窓ガラス飛散防止対策、児童生徒が学校園で被災した時のヘルメットや防災ずきんの配備を要望、また民間マンションと協定を結び新たな避難所を確保する帰宅困難者対策およびBCP策定の進捗状況について聞く	窓ガラス飛散防止対策については一部を除いてまだできていないので協議を進めていく。帰宅困難者対策については、バスや船舶による代替輸送手段の確保等研究していく。BCP（業務継続計画）策定については取り組みを進めていく。
ひらかたの魅力発信事業（ひらかた検定）について	
質問	答弁
5年前の市制施行60周年事業の一環として、第一回ひらかた検定が実施された、今回65周年記念事業として、ひらかたの魅力を全国に発信するため第二回ひらかた検定の実施を提案	民間も参画した実行委員会方式を取り入れるなど、民間のアイデアを活かし、検定に向けての機運を高めながら実施する
多胎児家庭育児支援事業について	
質問	答弁
本年10月からホームヘルパーの無料派遣、ファミリーサポートセンターの提供会員による送迎や預かりが実施されるが、事業を実施していく中で、育児支援のニーズに応じ、柔軟に対応していかれるのか、また少子化対策の一環として不育症の検査や治療への助成を要望	事業を実施していく中で、育児支援の内容の検証やニーズ把握などを行っていく。
こども医療費助成について	
質問	答弁
本年4月から、こども医療費の助成が、入院が小学校6年生まで拡充される。大阪府下における本市の制度の水準はどのような状況になるのか、「健康医療都市」を宣言された本市として、子育て支援の中でもニーズが高いこども医療費助成はトップレベルであるべきである、通院についても拡充を要望	今回の制度の拡大を受けて、平成24年1月現在の大阪府下の状況に照らし合わせると、43市町村のうち、本市を上回るサービス水準の自治体は、通院で7市町村、入院で9市町村

市制施行 65 周年事業「健康医療都市ひらかた」推進事業について

質問	答弁
今、精神疾患の患者数は、がんや脳卒中、心疾患、糖尿病の4疾病をはるかに超え、国民的な課題として位置づけられている。健康医療都市を推進していく上で「こころの健康」に関する取り組みが重要になる。「こころの相談センター」の設置を要望	健康医療都市ひらかたコンソーシアムが取り組むべき連携事業の一環としてコンソーシアムを構成する関係機関や団体と話し合いを重ねていく。

自殺予防対策事業経費について

質問	答弁
自殺原因の中でも、経済問題が多いと聞いた。今回拡充されるひらかたいのちのホットラインをフリーダイヤルにはいかがか伺う	経済問題でお悩みの方がおられることも踏まえ、今後検討していく。

その他、決算特別委員会の審査結果内容をふまえて、人材育成基本方針について、学園都市ひらかた推進協議会経費について、不登校支援協力員配置事業について、地域子育て支援拠点事業、子宮頸がん検診、飼い犬等不妊手術費補助事業について、交通対策費について質問させていただきました。

がん教育が市立中学校で実施されています！

公益財団法人日本対がん協会から、がん教育基金DVD「がんちゃんの冒険」が制作され、これを活用したがん教育が行われています。

このDVDは肉食好きで愛煙家の「オジジさん」とがん細胞のがんちゃんを中心に繰り広げられる短編 17話で構成され、オジジさんが、がんについて学び、検診を受けて早期発見・早期治療に取り組むストーリーを通し、がんができる原因や仕組み、がん大国・日本の実態、放射線治療、緩和ケアなどの基礎知識を習得。正しい生活習慣と定期検診がいかに大切かが理解できるようになっています。人口の半数ががんになる現代を生きることも達には「がん教育」が必要と、議会で訴え実現したものです。



渚西中学校にて

公明新聞 2 月 23 日に掲載されました。



ひらかた情報スポット

新年度予算に公明党枚方市会議員団が主張して反映された実績です！

☆入院にかかる医療費助成を小学校卒業までに拡大！

4月1日以降の入院について、小学生の入院にかかる保険診療の自己負担額（食事療養費を含む）から一部自己負担額を控除した額が助成されます。

一部自己負担額は、1医療機関あたり1日500円まで、1か月の上限は1000円（複数の医療機関に入院した場合は2500円）申請が必要です。

詳しくは ☎841・1221 医療助成課まで

☆子宮頸がん検診が20歳からに！

若年層で急増している子宮頸がんの早期発見早期治療を推進するため、

4月1日から検診の対象年齢が20歳以上に引き下げられます



子宮頸がん予防講演会に参加しました。（3月29日（木）ラポールひらかた）

☆学校備蓄倉庫が全小学校に設置！

余裕教室のない未整備16の小学校に防災倉庫を設置し、全小学校に分散備蓄ができます。

☆「こども青少年部局」の設置！

こども施策の専門窓口を要望し実現しました。

☆議会改革にも積極的に取り組んでいます！

「議会改革特別委員会」において、議員定数2削減、議員報酬6%削減が決定！

発行は枚方市議会議員 岡林かおるです。

市議会:072-841-1221(市役所4階公明党控室)

連絡先:072-841-6371 FAX:072-841-6370

e-mail : kaoru_himawari2010@yahoo.co.jp

URL : <http://www.sunflower-kaoru.com>

